



走り幅跳び全国へ カヌーは東海大会へ

おめでとう!!



白楊賞授与



同窓会報

校報会局 17 の 1
学 務 部 22 - 2536
等 高 事 神 25 - 9231
会 北 会 市 神 0564
北 行 北 会 石 市 0564
崎 行 北 会 石 市 0564
同 同 崎 崎
発 行 北 会 石 市 0564
同 同 崎 崎
会 会 局 局
番 号 大 原 正 義
大 原 正 義
大 原 正 義
大 原 正 義

同窓会会長

杉本知治



創立百三年目の今年度は、コスモサイエンスコースが三年目を迎え、愛知スーパーハイスクール研究指定校についても、最後の三年目になりました。この研究指定により、岡崎北高等学校の学業のレベルアップが図られたと感じています。具体的には、国立立大学進学率向上に効果があり、最近の五年間では最もよい数字をあげました。

さて、北高同窓会は、新しい体制になって二年目に入りました。昨年の北高同窓会は会場がいっぱいで壁際に追加で椅子を出すほど数多くの方々にご参加いただきました。改めて心から御礼申し上げます。

同窓会の新たな取り組みとして、昨年度より、卒業して四年以内の学年理事の皆さんと懇親会を開催しています。また、卒業予定者には北高同窓会入会式において、クラス幹事の紹介をしっかりと行い、「二十歳になったら同窓会を開催しましょう！」を合言葉に啓発をしております。

そして、今年度の大きな変更点は、今までゆかりの地である中山会館で開催してきた北高同窓会を、竜美丘会館で催し、より多くの方に参加していただけるよう計画した点です。今回の変更により、今まで「厚情をいただいたきた先輩方はもちろんのこと、さらに新しい同窓生の参加を加えて、活動の輪を広げていきたい」と念じております。また、十分とはいえませんが、着実に同窓会組織の強化を図り、卒業されたばかりの会員の方も参加しやすいよう工夫をいたします。

今回の工夫が実を結ぶには、各年度の学年理事の方々のご尽力が不可欠です。総会や理事会への参加や、会報を購読するなど同窓会活動を通して、母校のためにご尽力いただくことを切に願っています。

今年度は、飯田校長先生を、本校卒業生では初めての岡崎北高等学校校長として迎え、新たな歴史を積み重ねることができると期待しております。

校 長
飯 田 敏 行

はじめまして。このたびの異動により、祖父江義信前校長の後任として着任いたしました飯田敏行と申します。私は、昭和43年から3年間、本校に生徒として在学しました。このたび40年という年月を経て、この頃余年の伝統を誇る岡崎北高校に再びお世話になることになり、身の引き締まる思いであります。微力ではありますが、全力で本校のさらなる充実・発展に努力してまいれる所存であります。どうぞよろしくお願いたします。

さて、久しぶりに本校に帰って、旧に変わらぬ校舎のたたずまいに懐かしさを覚える一方で、本校の教育内容の充実ぶりに大変驚いています。コスモサイエンスコースの設置に伴う新たな取組や、「愛知スーパーハイスクール研究校」の指定を受け、「次代の自然科学研究を担い国際社会で活躍できる人材の育成を目指した学習プログラムの開発」に関する研究など、「知識基盤社会」の時代にふさわしい教育が積極的に行われています。さらに今年度は、「学校力を向上・進化させ、生徒の進路希望の実現を図る」ことを重点目標として掲げ、授業力向上プランによる確かな学力の育成や、規範意識の涵養と特別活動の充実など、教育の原点ともいえる教育活動に教職員一丸となって取り組んでいるのです。

この教員達の期待に応え、生徒は清楚で礼儀正しく、落着いた雰囲気の中で真剣に授業に臨んでいます。また、授業後の部活動に多くの生徒が積極的に参加し、グラウンドや体育館などで元気に汗を流したり、楽器などの練習に励んだりしています。

先日、総体予選の応援に出かけた会場で、ハーフタイム時に階席で部員がそろって「行け！行け！北高！」と本校の応援歌を斉唱していました。また、球技大会の閉会式では、いつ頃から伝統なのでしょう、生徒同士が肩を組み、「白亜の校舎我が母校」と天熱唱する姿がありました。それぞれ北高生としての一体感を強く感じさせてくれる場面でした。このような「文武両道」の生徒の姿は、今では北高のスクール・アイデンティティの一つとなっております。

創立百周年を記念して整備された校門から本校を望む時、両側からせり出した板があたかも北高の未来を象徴するかのような飛翔のアーチに見えます。この広大な敷地と多くの緑を擁する恵まれた学習環境の中で、生徒一人ひとりが「高い知性と豊かな情操、たくましい気力・体力の養成」を図って日々充実した高校生活を送ることを願い、それがかなう学校にしたい、と望んでおります。

最後に、同窓会会員の皆様のご多幸とご活躍を心からお祈り申し上げます。今後とも本校発展のためにご支援・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

今年度から総会・懇親会は
竜美丘会館で開催決定

平成 21 年度
北高会 総 会



中部大会出場 一打楽器八重奏



— 進学情報 —

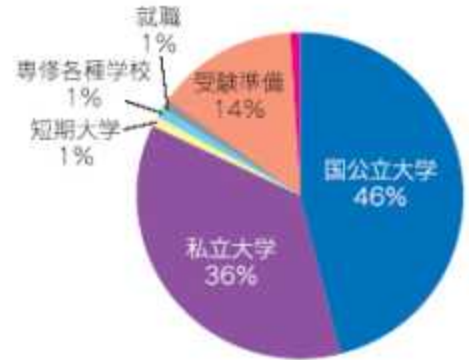
平成22年度入試合格者数 (過年度卒を含む)

国公立大合計	196
私立大合計	709
短大・専門学校合計	14

国公立大学	私立大学	短期大学	専修各種学校	公務員	受験準備	大学校
164	129	4	5	2	52	2

トビツクス

- ① 京都大学に4名合格
工学部に現役・過年度各2名合格
- ② 国公立大学合格数のうちで、8割が東海地区の大学への合格です。
- ③ 東京外国語大学に2名合格しました。
2名とも現役合格です。



国公立大学 東日本

東日本 12	室蘭工業	1
	秋田	1
	山形	1
	秋田県立	1
	東京外国語	2
	横浜国立	2
	新潟	1
	千葉	1
西日本 25	横浜市立	1
	都留文科	1

国公立大学 西日本

西日本 25	京都	4
	滋賀	4
	奈良女子	1
	大阪市立	2
	大阪府立	2
	神戸	3
	鳥取	1
	広島	1
	佐賀	1
	大分	2
中部地区 159	岡山県立	2
	県立広島	1
	北九州市立	1

国公立大学 中部地区

中部地区 159	愛知	愛知教育	28
		豊橋技術科学	1
		名古屋	16
		名古屋工業	14
		愛知県立	18
		愛知県立芸術	1
	東海	名古屋市立	17
		静岡	21
		浜松医科	1
		岐阜	9
		三重	7
		静岡県立	4
	甲信越	富山	3
		金沢	5
		福井	2
北陸	山梨	1	
	信州	8	
	福井県立	1	
石川	金沢美術工	1	
	石川県立	1	

平成15~22年度入試 現役合格者数 日程別

入試年度	国公立大学	前期	中・後期
平成15年	143	112	31
平成16年	180	146	34
平成17年	160	126	34
平成18年	163	131	32
平成19年	145	112	33
平成20年	157	126	31
平成21年	166	116	50
平成22年	180	127	53

主な関東私立大

青山学院	4
中央	4
東京理科	8
日本	4
駒澤	1
法政	7
明治	9
慶應	3
津田女子	1
国際基督教	1
早稲田	2

主な中部・関西私立大

南山	115
名城	64
愛知	116
中京	71
愛知淑徳	26
同志社	20
立命館	60
関西	7
関西学院	6



台風18号(平成21年10月)の惨禍

広告

部 活 動

吹奏楽中部大会出場

男子バレー部



ユーフォニウムと伴奏者

クラリネットアンサンブル

クラリネット八重奏

東海大会出場

平成21年7月～平成22年6月 部活動成績

県大会以上出場の部を掲載

【東海大会以上出場の部活動】

【文化部】

部	参加行事	東海大会成績	部	参加行事	県大会成績	地区大会成績
吹奏楽	全日本吹奏楽コンクール・東海大会 (朝日) 日編成の部	金賞	吹奏楽	中部日本吹奏楽コンクール愛知県大会 (中日)	優秀賞	
	第22回管楽器個人・重奏コンテスト中部本大会	重奏の部・打楽器八重奏 優秀賞		愛知県吹奏楽コンクール・県大会	金賞	西三河北地区 金賞
		重奏の部・クラリネット八重奏 優良賞		愛知県吹奏楽コンクール・県大会・代表選考会	B編成代表	
		重奏の部・クラリネット四重奏 優良賞		愛知県吹奏楽コンクール (プライマリーの部)		西三河北地区 銀賞
個人の部・ユーフォニアム独奏 優良賞		全日本アンサンブルコンテスト愛知県大会	クラリネット四重奏 金賞	西三河北地区 金賞		
木管五重奏 金賞		打楽器八重奏 金賞	西三河北地区 金賞			
バレーボール	東海高等学校バレーボール選抜大会	木管五重奏 金賞	打楽器八重奏 優秀賞	西三河北地区 優秀賞		
陸上競技	東海高等学校総合体育大会 男子走り幅跳び	5位 全国高等学校総合体育大会に出場	クラリネット四重奏 優秀賞	西三河北地区 優秀賞		
放送部	第57回 NHK 杯全国高等学校放送コンテスト 放送部門	優秀賞 全国大会出場	クラリネット八重奏 優秀賞	西三河北地区 優秀賞		
カヌー	東海高等学校総合体育大会 カヌー競技 女子カセックシングル	クラリネット四重奏 優秀賞	ユーフォニウム独奏 優秀賞	西三河北地区 優秀賞		
			ホルン独奏 優良賞	西三河北地区 優秀賞		
			放送部	愛知県高校放送コンテストジュニア大会	放送部門 優良賞	
				第57回 NHK 杯全国高等学校放送コンテスト愛知県大会	放送部門 優秀賞 1人選 2	

【運動部】

部	参加行事	県大会成績	地区大会成績
バレーボール	東海高等学校バレーボール選抜大会 愛知県大会	男子団体 4位	男子団体 優勝
	東海高等学校バレーボール選抜大会 愛知県大会		女子団体 4位
	愛知県高等学校バレーボール選手権大会	男子団体 3位	男子団体 5位
	愛知県高等学校バレーボール選手権大会		女子団体 4位
	愛知県高等学校新人体育大会		女子団体 4位
	愛知県高等学校総合体育大会		男子団体 3位
陸上競技	愛知県高等学校新人体育大会	男子 4×100m R	6位
		男子 走り高跳び	6位
		男子ヤリ投げ	6位
		女子 100mH	5位
		女子 走り幅跳び	5位
		女子 4×100m R	3位
	愛知県高等学校総合体育大会	男子走幅跳 5位	2位
		女子走高跳	3位
		男子走高跳	4位
		男子 110mH	6位
	愛知県選手権西三河予選会	男子 走幅跳	5位
		男子 4×100m R	3位
		女子 100mH	2位・5位
		女子 400mH	6位
バスケットボール	全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 愛知県予選		予選突破
	愛知県高等学校総合体育大会		女子団体 6位
			男子団体 8位
水泳	愛知県高等学校新人体育大会	男子団体	3位
		男子50m自由形	8位
		男子100m自由形	7位
		男子100mバタフライ	2位
		男子200mバタフライ	8位
		男子400mリレー	8位
		女子100m平泳ぎ	3位
		女子200m平泳ぎ	2位
		女子団体	2位
ハンドボール	愛知県高等学校新人体育大会		
ソフトボール	愛知県高等学校新人体育大会		
ソフトテニス	国民体育大会選手選考愛知県大会	女子個人	ベスト16
	愛知県高等学校新人体育大会	女子団体	ベスト16
	愛知県高等学校総合体育大会	女子個人	ベスト16
		女子ダブルス	5位・17位
柔道	愛知県高等学校新人体育大会	女子	2位
		女子	3位
		女子団体	予選突破
弓道	愛知県高等学校新人体育大会	男子66歳	2位
		女子個人	3位
カヌー	愛知県高等学校総合体育大会	女子団体	3位
		女子カセックシングル	7位
卓球	愛知県高等学校総合体育大会	女子団体	5位
		女子ダブルス	予選突破
		女子シングルス	予選突破
		男子ダブルス	予選突破
		男子シングルス	予選突破

スポーツトライト(1)

「自然に見守られた

北高をふりかえって」

北高16回生 養護教諭 黒柳浄子
 いよいよ、定年退職の時を迎えることになりました。私が、本校勤務になったのは、昭和六十二年の四月のことです。母校である岡崎北高等学校の校門を入ると、大きく変わった見事なカイズカイフキの並木にびっくりにしたのを覚えています。北高のよい所は？と聞くと、ほとんどの人が「学校が大きいとか、グラウンドが広い」と言います。本校は自然に恵まれた素晴らしい環境の学校です。春は梅、門かぶりのソメイヨシノ、咲き誇る山桜、シンボルである新緑のポプラ、木々の緑、東側の山は山笑うが如く芽吹き、春の息吹にあふれます。初夏にはサツキが咲き、



体育大会にて

秋は、紅葉やナンキンハゼが真っ赤になります。また、イチヨウは真黄色な絨毯を敷いてくれます。冬にはグラウンドが雪で真白になります。生徒も職員も四季折々の木々、花々に癒やされ育まれてきました。ある時などは、カルガモの親子が、本館の前の池で、よちよちと散歩し校庭を横切る風景もありました。



母も岡崎市立高等女学校卒業で、父(天野義静)が昭和四十一年から七年間、本校の校長であったこと、

さて、私事になりますが、北高には、すごい思い出があります、それは、父(天野義静)が昭和四十一年から七年間、本校の校長であったこと、母も岡崎市立高等女学校の卒業で、父と娘も卒業生であること、また私自身が、北高が大好きなこと、生徒が可愛くて仕方のないことなど全部含めて、熱い思い出で二十三年間過ごすことができました。

私が、北高の三年生の時、創立六十周年記念事業が行なわれ、父が校長として苦勞していたのを覚えています。その当時は、岡崎市立高等女学校の同窓会である「みくさ会」が本校の前身であると認められていなかったため、岡崎市立高等女学校と県立岡崎北高等学校の統合に一番苦

なかつたら、創立六十周年間という歴史はできませんので、色々な協議

の末円満に解決していったようです。

そして、校誌「北高」もその翌年に、創刊号ができました。題字の「北高」は父の字で、今でも使われ続けていることを嬉しく思っています。余談ですが、デザインは、美術を教えて頂いた恩師の伊與田正先生(現在、保健体育科勤務の伊與田賢先生の祖父にあたる)です。本当に、歴史を感じます。

卒業して十九年後に、石川貴美栄先生の後任の養護教諭として本校に勤務することになりました。そして、その年に八十周年記念式典に遭遇し、その十年後、九十周年、平成十九年には百周年の節目を迎えました。周年記念事業に四回も立ち会うという、ごくまれな経験をしたので

す。岡崎北高校は学校保健の分野では、西三河の中心校であり、恵まれた環境で仕事ができました。周りの先生方、保護者の皆様の理解もあり、また色々な生徒に助けられ、充実した日々を送ることが出来、大変感謝をしています。

自然の中で心豊かに三年間を過ごす、広いグラウンドで思いっきり運動ができる生徒達は本当に幸せです。伝統の持つ奥深さと包容力のあるやさしさに包まれて、今後とも北高が、文武両道の素晴らしい学校として躍進し続けていくことを祈っています。

広告

スポットライト(2)

地元岡崎で、和ろうそくの製作に取り組んでいる磯部亮次さんのお話です。

北高30回生 磯部亮次

人を和ませる炎を守れ! ◆

お父様が病で倒れたのをきっかけに、三百年の歴史を持つ和ろうそく店を継ぐ決意をされた磯部さん。最初はとにかく、がむしゃらに仕事をこなしていたそうです。やがて自分が進む道が見えてきたそうです。

「自分が仕事を始めたころの和ろうそくは、今になって見るとひどい仕上がりで、そのろうそくを文句もいわず使ってくださいったお得意さんのことを思うと、ただ感謝するだけですよ。」



仕事風景

そう語る磯部さんは、その後お客さんへの感謝を技術で恩返ししようとして、先代が持つ技を日々観察して、その匠の技を着実に身につけ、質の高いろうそくを作り続けています。「お客さんが、和ろうそくの仄かな炎に和んでいる姿をいつも思い浮かべて毎日仕事に励んでいる」と言う磯部さんにお話しを伺いました。

良質の素材へのこだわり



和ろうそくは扱っている業者が少ないうえ、複雑な流通経路であったため、将来原料が手に入らないと危機感を持ちました。早速、父親を説得して、直接、材料を仕入れるルート作りに着手しました。ろうそくの原材料である良質の燭(はぜ)の蜜を作る

九州の業者のもとに何度も足を運び、「自分の利益だけでなく燭作りそのものを保護していきたい」と訴え続け、努力が報われ、産地と直結したルート開拓に成功しました。と同時に燭の蜜を取り巻く自然環境を保護する運動にも積極的に関わろうになりました。

久留米市にある日本最大の和ろうそくモニユメント



知名度を高めたい!

和ろうそくの材料入手や販路整備に関わるうちに、和ろうそくの認知度の低さに気づきました。「まず伝統工芸のよさを知ってもらうことが第一」と判断し、地元を中心に名古屋地区や県外のデパートで実演販売をしたり、子供向けのろうそく教室を手がけました。また、同じように



「おかざき匠の会」のメンバーと「愛・地球博」にて

認知度を高めようとしていた他の伝統工芸に関わる人たちと「おかざき匠の会」を平成十三年に結成し、「愛・地球博」の日本館でも実演販売をしました。

その後も、地元とのつながりを意識した商品の開発を手がけたり、様々なメディアを通じた広報活動を続けています。

これからも、お客様の和みの表情を思い浮かべて、地区や年令を超えて様々な人々に和ろうそくの良さを広げていきたいと思えます。



地元キャラクターを模した商品として様々な人に和ろうそくの良さを広げていきたいと思えます。



磯部ろうそく店を取材に訪れたメディアの色紙

スポーツトライト(3)

夢への挑戦

北高56回生 都築義幸

サーキットに響き渡るエンジンサウンド、1000分の1秒を争うピットワーク、僕はそんな世界に憧れてFormulaSAE競技に参加したいと高校時代から考えていました。

FormulaSAE競技とは、小型のレーシングカーの設計、製作、走行はもちろん企画からチーム運営、マシンのプレゼンテーションを行う競技です。僕はその中でも他大学のように昨年のマシンを引き継ぐのではなく、各学年が単独チームとしてプロジェクトを組む東海大学の体制にひかれチームのメンバーになりました。

希望だけを持って入ったチームですが、メンバーは日本中から集まった車大好き集団。入学時は会話の内容や単語がほとんどわからず辛いこともあり、何度も辞めようと考えました。しかし、レーシングカーを作るといふ夢は捨てられず、チームに残りま



した。

何をしたいのかわからないまま1年が終わろうとしていた頃、先輩方のマシンのホイールに穴をあけて軽量化するという担当をもちうることができ、二〇〇九年度大会のマシンに関わることができました。こういった穴をあければいかに軽く強度のあるものになるのかを解析ソフトを使って何度も試しました。試行錯誤の末デザインを決定しホイールに穴をあけるのですが、1mmの誤差がバランスに関わってくるのでとても重要な作業です。そして完成したホイールは二〇〇九年度の日本大会で使用され、僕たちTokaiFormulaClubは80チーム中7位という好成績を収めました。

こうして始まった僕のものづくりですが、二〇一〇年度の日本大会が主となれる最初で最後の大会として9月に開催されます。僕はマシンのフレーム、アーム、昨年に続いてホイールの担当として設計や溶接による製作を行っています。世界に1台しかない僕たちのマシン、このマシンで優勝を目指していきます。

HP: <http://formula.shn.u-tokai.ac.jp/>

スポーツトライト(4)

7年目の快挙

北高56回生 高木陽輔

二〇一〇年2月27日、44の大学・大学院から匿名が岐阜県岐阜市へ集結し、第7回全日本学生落語選手権「策伝大賞」が開催された。北高を卒業後、岐阜大学へ進学した私は、偶然にも落語研究会へ入部。この日は地元出場者として、激しい予選を戦っていた。決勝進出枠は8つ。過去の進出者は関東や関西が中心で、第6回大会まで中部地方からの進出者は皆無だった。予選終了後、審査員の集票作業の間、出場者は互いの労をねぎらい、軽食をとったり、ピロ大会などに興じたりしていた



が、正直なところ自分は集票結果が気になって仕方なかった。予定より1時間遅れての結果発表。順番に大学名と名前を呼ばれていく。「岐阜大学、三流亭今老」という自分の高座名が呼ばれた時、不覚にも隣にいた先輩と抱き合っていた。決勝は翌日、長良川国際会議場の大ホールに観衆が詰めかけた。予選と同じ「たくたく」という演目を8分。残念なことに、自分は賞を取ることが出来なかったが、まずは中部初の決勝進出者となったことを満足に思う。岐阜大学落語研究会の名前も全国的になり、決勝進出という業績から全国落研の中で私の名前も知られるようになった。今年度、3年生として第8回大会に臨む。勿論、決勝進出と大賞受賞を目指すつもりである。



平成22年度 総会コーナー

日時:平成22年9月26日(日)

総会:午後1時~奄美丘会館501号室
懇親会:午後2時~奄美丘会館大ホール

【平成21年度決算報告書】

【平成22年度会計予算書(案)】

(歳入)

平成21年4月1日~平成22年3月31日

款項目	予算額	収入済額	備考
1 繰越金	3,145,767	3,145,767	
2 入会金	1,800,000	1,790,000	5000円×358人
3 諸収入	250,233	318,259	総会会費、銀行利息、会報購読料
歳入合計	5,196,000	5,254,026	

(歳出)

款項目	予算額	支出済額	備考
1 会議費	50,000	20,590	
2 通信運送費	55,000	68,835	
3 総会費	887,000	792,946	
4 慶弔費	100,000	0	
5 周年行事費立金	1,600,000	1,600,000	
6 同窓会報発行費	500,000	555,545	
7 部活動激励費	300,000	560,000	部活動激励費等
8 雑費	1,604,000	339,137	賞状賞記念品・販経費記念品・オフ会
9 予備費	100,000	0	
歳出合計	5,196,000	3,937,053	

(歳入)

款項目	予算額	備考
1 繰越金	1,316,973	
2 入会金	1,800,000	5000円×360名
3 諸収入	300,027	総会会費、銀行利息、会報購読料
歳入合計	3,417,000	

(歳出)

款項目	予算額	備考
1 会議費	50,000	
2 通信運送費	70,000	
3 総会費	1,100,000	
4 慶弔費	50,000	
5 周年行事費立金	800,000	
6 同窓会報発行費	500,000	
7 部活動激励費	300,000	
8 雑費	447,000	賞状賞記念品・PTA会報費等
9 予備費	100,000	
歳出合計	3,417,000	



開会式行事の吹奏楽部演奏



懇親会の最後で恒例になっている肩を組んでの応援歌

懇親会の様子

平成22年度役員 (敬称略、印は学校側 ○印は新任)

顧問	大原正義 (8)	神取鈴枝 (女6)	杉浦民扶 (7)	今泉直仁 (6)
	大山正夫 (6)	大川英子 (女9)	中田晴久 (9)	小林圭子 (女39)
	中村雄司 (10)	加藤佳智子 (6)	○・藪田敏行	松平恵太郎 (15)
	○山田善美 (15)			
会長	杉本知治 (26)			
副会長	深津豊子 (15)	野村政弘 (24)	服部直己 (26)	伊奈 徹 (34)
理事長	阿部年恭 (24)			
副理事長	陶山すみれ (18)	磯部亮次 (30)		
書記	○河合剛志 (29)	・村田浩明		
会計	小漢 恵 (18)	○・水越嗣雄		
会計監査	臼井行雄 (18)	嶋澤彰宏 (30)	福澤玉青 (30)	・杉田 正
総会・組織	清水亜由子 (20)	杉田雅裕 (19)	手嶋原生 (31)	
名簿・広報	渡辺大治郎 (17)	都築 進 (32)	石川敏郎 (35)	清水大輔 (38)
学校代表	・萩生昭徳		事務局長	・酒井得郎

昨年度までの総会との変更点

- 1 会場が、奄美丘会館に変わります。総会は501号室、懇親会は大ホールで行います。
- 2 会費は、1500円で変わりません。(ただし、旧職員の方々、高女卒の方々、58回生の方々は無料です。)
- 3 受付で次の資料を配付します。(1)同窓会報4号(2)PTA広報紙「ポプラ」第41号
- 4 懇親会の開会式行事で、吹奏楽部・音楽部・応援部の演奏があります。また、柏木典子さんのミニコンサートも予定しています。
- 5 懇親会会場にて、卒業生の方のパネル発表があります。展示予定者は、小林敬子さん(着物)、清水南文さん(華の写真)、岡村孝子さん(曲に関するグッズ)です。

広告

◆世界柔道形大会優勝◆



おめでとう！ 近藤克幸先生

◆同年会情報◆

北高56回生 林 聡宏
平成21年の7月12日から約5ヶ月かけて準備して、平成21年12月27日(火)に岡崎市内のホテルで57回生の同年会を開催しました。参加人数は先生方を含めて約240名でした。思い出ビデオやピング大会で大いに盛り上がり、近いうちの再会を期して閉会しました。



平成二十一年度先生方の異動

—敬称略—

退職		転任	
校長	教頭	英語	保健体育
祖父江善信	寺町敬志	中根 旋市	小路 光子
		大塚 智志	
			神谷 賢一
			加藤 未奈
			原田 薫子
			小山内 勇介
			和田 千尋
			阿部 京子
			↓ 豊野 孝義
			↓ 豊田 北

ダイレクトメールに注意を

新年度に入りまして、下記のダイレクトメールに関して、多くの同窓生の皆様から苦情や問い合わせが相次いでいます。このことについては以下のようにご理解ください。

- ① 当同窓会とはまったく関係がありません。
- ② 当同窓会では他の会社に委託して名簿管理をすることはありません。

なお、返信を催促する内容の案内があります。個人情報や名簿購入の有無については一切お答えする義務はありません。もし返信等された場合は当同窓会としては責任を負いかねますので、くれぐれもご注意ください。

※ご不明な点がございましたら、愛知県立岡崎北高等学校同窓会「北高会」事務局までお問合せください。

電話：0564-22-2536/FAX：0564-25-9231
E-mail: doujou_kirakoh@yahoo.co.jp

料金を納め郵便

221031

岡崎北高等学校 同窓会

〒467-0192 岡崎市北町1丁目1番1号

愛知県立岡崎北高等学校職業別名簿

〒467-0192 岡崎北町1丁目1番1号

TEL: 0564-22-2536 FAX: 0564-25-9231

氏名	〒	住所	TEL	備考
...
...

申込書 定価10,800円(税別) 申込(する-しない)

【お知らせ】

記念誌頒布しております

百周年を記念して作成いたしました記念誌「白亜の校舎ここに立つ」の残部があります。頒布をご希望の方は、事務局まで、電話・ファックス・Eメールでご連絡ください。連絡先は、会報の題字下に書いてあります。なお、記念誌は、一冊三、〇〇〇円でお分けしております。郵送をご希望の方は、送料五〇〇円別途いただきます。

事務局からのお願い

- 1 同窓会報の記事を募集しています。(1)スポットライトの執筆者
- (2)近況報告
- 自薦・他薦どちらでも構いませんのでお気軽にご連絡ください。
- 2 同窓会報の購読のお願い
- 同窓会報の購読者が増えますようご協力をお願いします。購読料は、二年で一、〇〇〇円、五年で二、〇〇〇円、十年で四、〇〇〇円です。
- 3 お問合せ先
- 会報に関するご意見・ご要望等がありましたら事務局までご連絡ください。連絡先は、一ページ題字下に書いてあります。

「今年6月に教育実習を行った55回生の皆さん」



広告